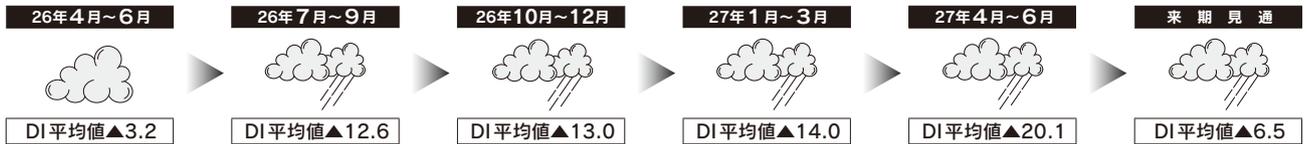


県内中小企業(製造業)景況動向

平成27年4月6月期

今期はマイナス幅が拡大するものの、来期は回復の兆しあり

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

10-12	1-3	4-6	来期見通
▲10.9	7.2	▲26.9	▲20.3
<p>前年同期比の売上高D Iは▲31.2、収益性D Iは▲22.5で、両方を合わせたD I平均値は▲26.9となり「小雨」模様になっている。来期見通しは6.6ポイント上昇して▲20.3となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲40.6、収益性D Iは▲25.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは12.0、設備操業率D Iは▲12.0、設備投資実施率は34.5%となった。</p>			

繊維・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
▲30.3	▲28.0	▲17.9	▲7.1
<p>前年同期比の売上高D Iは▲7.1、収益性D Iは▲28.6で、両方を合わせたD I平均値は▲17.9となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは10.8ポイント上昇して▲7.1となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲21.4、収益性D Iは▲27.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは27.3、設備操業率D Iは▲27.3、設備投資実施率は7.4%となった。</p>			



概況

売上高と収益性を合わせたD I平均値(前年同期比)については▲20.1となり、前回調査(27年1-3月期)の▲14.0から6.1ポイント下降している。来期見通しにおいては、13.6ポイント上昇して▲6.5となっている。

売上高D I(前年同期比)については▲18.2となり、前回調査から7.7ポイント下降している。来期見通しにおいては▲3.7となっている。

収益性D I(前年同期比)につい

ては▲22.0となり、前回調査から4.5ポイント下降している。来期見通しにおいては▲9.3となっている。

業況D I(前年同期比)については▲21.0となり、前回調査から5.5ポイント下降している。来期見通しにおいては▲6.2となっている。

原材料価格D I(前期比)については22.7となり、前回調査から2.5ポイント上昇している。

販売価格D I(前期比)については▲6.2となり、前回調査から7.7ポイント下降している。

資金繰りD I(前期比)については▲12.1となり、前回調査から20.1

6ポイント下降している。

金融機関の態度D I(前期比)については1.9となり、前回調査から1.9ポイント上昇して緩和している。

設備投資実施率については24.8%となり、前回調査より0.6ポイント上昇している。業種別で最も高い実施率となったのは、「プラスチック製品」の50.0%で、目的別では、「増産」が23.1%でトップであった。

設備操業率D I(前期比)については、▲13.4となり、前回調査から4.3ポイント下降している。

紙・加工品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲7.7	▲7.7	▲26.5	▲38.2
<p>前年同期比の売上高D Iは▲17.7、収益性D Iは▲35.3で、両方を合せたD I平均値は▲26.5となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは11.7ポイント下降して▲38.2となり「雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲17.6、収益性D Iは▲33.4となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲26.7、設備操業率D Iは▲35.8、設備投資実施率は17.7%となった。</p>			

木材・木製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲59.1	▲36.4	▲35.0	▲10.0
<p>前年同期比の売上高D Iは▲40.0、収益性D Iは▲30.0で、両方を合せたD I平均値は▲35.0となり「雨」模様が続いている。来期見通しは25.0ポイントの大幅上昇で▲10.0となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは10.0、収益性D Iは▲12.5となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは11.1、設備操業率D Iは0.0、設備投資実施率は10.0%となった。</p>			

金属・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲6.7	▲14.1	▲33.4	▲5.7
<p>前年同期比の売上高D Iは▲36.1、収益性D Iは▲30.6で、両方を合せたD I平均値は▲33.4となり「雨」模様に転じている。来期見通しは27.7ポイントの大幅上昇で▲5.7となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲13.9、収益性D Iは▲22.7となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲4.7、設備操業率D Iは▲18.2、設備投資実施率は25.0%となった。</p>			

窯業・土石製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲1.7	▲25.4	▲7.2	0.0
<p>前年同期比の売上高D Iは▲8.5、収益性D Iは▲5.8で、両方を合せたD I平均値は▲7.2となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは7.2ポイント上昇して0.0となり、「曇」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲20.0、収益性D Iは▲13.8となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲3.4、設備操業率D Iは▲6.9、設備投資実施率は27.3%となった。</p>			

プラスチック製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
28.6	10.0	0.0	▲8.4
<p>前年同期比の売上高D Iは「増加」、「減少」とも16.7%で0.0、収益性D Iは「好転」、「悪化」とも16.7%で0.0、両方を合せたD I平均値は0.0となり「曇」模様に転じている。来期見通しは、8.4ポイント下降して▲8.4となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは「増加」、「減少」とも33.3%で0.0、収益性D Iは▲16.6となった。また、雇用人員判断D Iは「不足」、「過剰」とも16.7%で0.0、設備操業率D Iも「上昇」、「下降」とも16.7%で0.0、設備投資実施率は50.0%となった。</p>			

機械・機器

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲11.7	▲12.8	▲13.7	8.7
<p>前年同期比の売上高D Iは▲7.8、収益性D Iは▲19.6で、両方を合せたD I平均値は▲13.7となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは22.4ポイント上昇して8.7となり、「曇」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲15.4、収益性D Iは▲26.6となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは19.6、設備操業率D Iは▲6.5、設備投資実施率は28.9%となった。</p>			